

編集後記

TCRT はじめ多くの学会で、チーム医療、タスク・シフト／シェアについて論じられることが多くなったと感じます。新たな挑戦が大きな貢献を生みます。新しい知識、技術を獲得することによる個の専門性の向上と、新たに業務を拡大することに伴うチーム医療の推進がさらなる良質な放射線医療の提供に繋がります。

私たちは今の自分や目指す方向性について「スペシャリスト」「ジェネラリスト」と語ることがあります。最近、若い頃にお世話になった先生がお亡くなりになりました。ご友人が弔辞で、先生は自分のことを、そのどちらでもなく「アーティスト」と語ったとか。かっこいいですね。

4年間、東北支部役員として、また編集委員としてこの紙面に関われたことを光栄に思います。原稿の執筆にご協力いただきました会員の皆様、ありがとうございました。この誌面が新しい知見の礎になり、今後ますます発展することをお祈りします。

(YS)